



本資料は、米国アッヴィ社が 2026 年 7 月 31 日(米国時間)に発表したプレスリリースを一部、日本語に翻訳し、2026 年 8 月 5 日(日本時間)、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。日本で発売されている製品は日本の製品名を記載しています。本資料(英文)については、www.abbvie.com をご覧ください。なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

PRESS RELEASE

2026 年 8 月 5 日

アッヴィ、2026 年第 2 四半期の業績を発表

- 第 2 四半期の希薄化後 1 株当たり利益(EPS)は GAAP ベースで、290.4%増の 2.03 ドルでした。調整後希薄化後 EPS は 22.9%増の 3.65ドルでした。これらには、取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した 1 株当たり 0.17ドルのマイナスの影響が含まれます。
- 第 2 四半期の売上高は、報告ベースで 10.2%増、営業ベースで 9.5%増の 169 億 9,000 万ドルでした。
- イミュノロジー(免疫)領域の第 2 四半期の売上高は、報告ベースで 15.1%増、営業ベースで 14.6%増の 87 億 8,600 万ドルでした。スキリージ®の売上高は、55 億 500 万ドルでした。リンヴォック®の売上高は、25 億 2,500 万ドルでした。ヒュミラ®の売上高は、7 億 5,600 万ドルでした。
- ニューロサイエンス(精神・神経疾患)領域の第 2 四半期の売上高は、報告ベースで 20.3%増、営業ベースで 19.8%増の 32 億 2,800 万ドルでした。Vraylar(日本では未承認・未発売)の売上高は、10 億 7,100 万ドルでした。ボトックス・セラピューティック(日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売)の売上高は、10 億 4,200 万ドルでした。Ubrelyvy およびアクイブタ®の売上高は合わせて、7 億 4,200 万ドルでした。ヴィアレブ®の売上高は、2 億 5,600 万ドルでした。
- オンコロジー(がん)領域の第 2 四半期の売上高は、報告ベースで 1.5%減、営業ベースで 2.4%減の 16 億 5,000 万ドルでした。ベネクレクスタ®の売上高は、7 億 7,100 万ドルでした。イムブルビカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売)の売上高は、5 億 3,200 万ドルでした。Elahere(日本では未承認・未発売)の売上高は、2 億 1,100 万ドルでした。
- エステティックス(美容医療)領域の第 2 四半期の売上高は、報告ベースで 0.3%増、営業ベースで 0.9%減の 12 億 8,200 万ドルでした。ボトックス・コスメティックの売上高は、7 億 2,800 万ドルでした。ジュビダームの売上高は、2 億 4,500 万ドルでした。
- Apogee Therapeutics を買収する最終契約を発表し、イミュノロジー領域のポートフォリオをさらに強化しました
- 2026 年における調整後希薄化後 EPS のレンジを、13.91ドル - 14.11ドルから 13.87ドル - 14.07ドルへ更新しました。なお、Apogee Therapeutics の買収提案に伴う 1 株当たり 0.14ドルの希薄化影響を織り込み済みであり、当該買収は 2026 年第 3 四半期に完了する見込みです。2026 年第 2 四半期までの取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払による 1 株当たり 0.58ドルのマイナスの影響が含まれます。

米国イリノイ州ノースシカゴ、2026 年 7 月 31 日—アッヴィ(NYSE:ABBV)は、2026 年第 2 四半期(2026 年 6 月 30 日終了)の業績を発表しました。



アッヴィの会長 兼 CEO のロバート・A・マイケルは、次のように述べています。「卓越した実行力とパイプラインの進展により、今四半期も好業績を収めました。また、Apogee Therapeutics の買収提案を発表しました。これは、患者さんに革新的な医薬品を提供する基盤をより強固なものとし、イミューロロジー領域における当社のリーダーシップをさらに確固たるものにするとともに、株主価値の大きな創出につながるものです。この好調な勢いを受けて、当社の長期的な見通しは引き続き非常に力強いものです」

2026 年第 2 四半期の業績

- 売上高は、報告ベースで 10.2%増、営業ベースで 9.5%増の 169 億 9,000 万ドルでした。
- イミューロロジー(免疫)領域の売上高は、報告ベースで 15.1%増、営業ベースで 14.6%増の 87 億 8,600 万ドルでした。
 - スキリージ®の売上高は、報告ベースで 24.4%増、営業ベースで 24.0%増の 55 億 500 万ドルでした。
 - リンヴォック®の売上高は、報告ベースで 24.5%増、営業ベースで 23.7%増の 25 億 2,500 万ドルでした。
 - ヒュミラ®の売上高は、報告ベースで 35.9%減、営業ベースで 36.1%減の 7 億 5,600 万ドルでした。
- ニューロサイエンス(精神・神経疾患)領域の売上高は、報告ベースで 20.3%増、営業ベースで 19.8%増の 32 億 2,800 万ドルでした。
 - Vraylar(日本で未承認・未発売)の売上高は、18.9%増の 10 億 7,100 万ドルでした。
 - ボトックス・セラピューティック(日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売)の売上高は、報告ベースで 12.2%増、営業ベースで 11.6%増の 10 億 4,200 万ドルでした。
 - Ubrelyvy(日本で未承認・未発売)の売上高は、報告ベースで 16.0%増、営業ベースで 15.9%増の 3 億 9,200 万ドルでした。
 - アクイプタ®の売上高は、報告ベースで 30.9%増、営業ベースで 30.3%増の 3 億 5,000 万ドルでした。
 - ヴィアレブ®の売上高は、2 億 5,600 万ドルでした。
- オンコロジー(がん)領域の売上高は、報告ベースで 1.5%減、営業ベースで 2.4%減の 16 億 5,000 万ドルでした。
 - ベネクレクスタ®の売上高は、報告ベースで 11.6%増、営業ベースで 9.6%増の 7 億 7,100 万ドルでした。
 - イムブルピカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売)の売上高は 29.4%減の 5 億 3,200 万ドルでした。
 - Elahere(日本では未承認・未発売)の売上高は、報告ベースで 33.1%増、営業ベースで 31.8%増の 2 億 1,100 万ドルでした。
- エステティックス(美容医療)領域の売上高は、報告ベースで 0.3%増、営業ベースで 0.9%減の 12 億 8,200 万ドルでした。
 - ボトックス・コスメティックの売上高は、報告ベースで 5.2%増、営業ベースで 3.4%増の 7 億 2,800 万ドルでした。
 - ジュビダームの売上高は、報告ベースで 6.0%減、営業ベースで 6.6%減の 2 億 4,500 万ドルでした。



- GAAP ベースで、売上総利益率は 74.7%でした。調整後売上総利益率は 84.7%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、21.4%でした。調整後の売上高に占める販売費および一般管理費の割合は 21.0%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める研究開発費の割合は、13.8%でした。調整後の研究開発費の売上高に占める割合は、13.6%でした。
- 取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払の売上高に占める割合は 1.7%でした。
- GAAP ベースで、営業利益率は 37.9%でした。調整後営業利益率は 48.3%でした。
- 純支払利息は 6 億 7,900 万ドルでした。
- GAAP ベースで、税率は 15.5%でした。調整後の税率は、14.7%でした。
- GAAP ベースの希薄化後 EPS は、2.03ドルでした。特定項目を除く調整後希薄化後 EPS は、3.65ドルでした。これらには、取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した 1 株当たり 0.17ドルのマイナスの影響が含まれます。

注意：「営業ベース (Operational)」の対比は、恒常為替レートで提示し、前年の為替レートにより現地通貨売上高の比較を実施しています。

詳細な情報はこちらをご覧ください(英文オリジナル)。

<https://news.abbvie.com/2026-07-31-AbbVie-Reports-Second-Quarter-2026-Financial-Results>

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、精神・神経疾患、がん、さらに美容医療関連のアラガン・エステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。 [LinkedIn](#), [Facebook](#), [Instagram](#), [X](#) や [YouTube](#) でも情報を公開しています。

Forward-Looking Statements

Some statements in this news release are, or may be considered, forward-looking statements for purposes of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. The words "believe," "expect," "anticipate," "project" and similar expressions and uses of future or conditional verbs, generally identify forward-looking statements. AbbVie cautions that these forward-looking statements are subject to risks and uncertainties that may cause actual results to differ materially from those expressed or implied in the forward-looking statements. Such risks and uncertainties include, but are not limited to, risks related to the proposed acquisition of Apogee Therapeutics, Inc. ("Apogee"), including the possibility that such acquisition may not be consummated on the anticipated timeframe or at all, risks related to the ability to realize the anticipated benefits of the proposed acquisition on the anticipated timeframe or at all, risks that the costs to consummate the acquisition or to obtain the anticipated benefits of the proposed acquisition could be greater than expected, the failure to obtain applicable regulatory or Apogee stockholder approval in a timely manner or otherwise, the risk that an event occurs that could give rise to the right of AbbVie or Apogee to terminate the merger agreement, risks related to the ability of AbbVie and Apogee to successfully integrate the businesses and the possibility that such integration may be more difficult, time consuming or costly than expected, risks that the proposed acquisition disrupts Apogee's or AbbVie's current plans and operations and makes it more difficult to maintain business and operational relationships, the diversion of management's



attention from ongoing business operations and opportunities due to the proposed transaction, negative effects of the consummation of the proposed acquisition on business or employee relationships or the market price of AbbVie's common stock and/or operating results, significant transaction costs, the assumption of unknown liabilities, the risk of litigation and/or regulatory actions related to the proposed acquisition, the risk that zumilokibart (APG777) or other Apogee pipeline assets may not demonstrate the anticipated success, safety, or efficacy in ongoing or future clinical trials, the risk that positive interim clinical trial results for zumilokibart (APG777) may not be predictive of results in later-stage or larger clinical trials, challenges to intellectual property, competition from other products, difficulties inherent in the research and development process, adverse litigation or government action, changes to laws and regulations applicable to AbbVie's industry, the impact of global macroeconomic factors, such as economic downturns or uncertainty, international conflict, trade disputes, tariffs and other uncertainties and risks associated with global business operations. Additional information about the economic, competitive, governmental, technological and other factors that may affect AbbVie's and Apogee's operations is set forth in Item 1A, "Risk Factors," of AbbVie's 2025 Annual Report on Form 10-K, which has been filed with the Securities and Exchange Commission, as updated by its Quarterly Reports on Form 10-Q and in other documents that AbbVie subsequently files with the Securities and Exchange Commission that update, supplement or supersede such information; and Item 1A, "Risk Factors," of Apogee's most recently filed Annual Report on Form 10-K and subsequent Quarterly Reports on Form 10-Q and in other documents that Apogee subsequently files with the Securities and Exchange Commission that update, supplement or supersede such information. AbbVie undertakes no obligation, and specifically declines, to release publicly any revisions to forward-looking statements as a result of subsequent events or developments, except as required by law.